

## 学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成22年11月24日(水) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

### 発 表 事 項

1. 特別展「疋田豊治ガラス乾板写真展」
2. キャンパス・イルミネーション点灯

### お 知 ら せ

1. 東北地区国立大学法人等『職員採用合同セミナー』
2. Y-MOTネットワーク『イブニングサロン in YONEZAWA』
3. JST『イノベーションフォーラム東北2010』
4. FDシンポジウム『学生主体型授業の冒険』

(参 考)

#### ○ 報道機関との懇親会

日 時：平成22年12月2日(木) 19:00～21:00

場 所：山形大学厚生会館(山形市・小白川キャンパス)

#### ○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成22年12月14日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成22年11月24日  
山形大学

## 特別展「疋田豊治ガラス乾板写真展」

山形大学附属博物館では、鶴岡市出身の魚類学者・故 疋田豊治氏のガラス乾板写真展（北海道大学総合博物館水産科学館所蔵）を、県内で初めて開催します。

期 間：平成22年12月6日（月）～17日（金）9：00～17：00

（土・日は11：00開館、最終日の17日は15：00閉館）

場 所：山形大学小白川図書館1階 シアタールーム（山形市・小白川キャンパス）

疋田豊治は1882（明治15）年、現在の鶴岡市に生まれ、北海道大学水産学部で長い間教鞭をとった魚類学者です。

疋田は在任中に6,900点にもおよぶガラス乾板写真を撮影し、現在でも良好な状態で保管されています。

その半数は海洋生物の標本写真ですが、なかには北海道の情景や故郷庄内の風景を写したものも含まれています。

この特別展は、北海道大学総合博物館で昨年開催された「疋田豊治ガラス乾板写真展」の巡回展として大学博物館同士の連携・協力を確かなものにするものです。

また、本学人文学部の学生が運営に参加した事例として大学博物館の可能性を考える機会となっています。

（お問い合わせ）

山形大学附属博物館

電話：023（628）4930

文化

<夕刊>文化面は同一園/芸術面は同一田/科学面は同一園

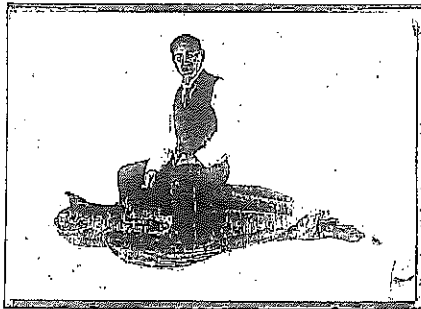
ガラス乾板 歴史の証人

国立科学博物館が所蔵する「正田豊治」のガラス乾板6900枚を、北海道総合博物館で展示している。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。

昭和初期 6900枚 保存良好

正田豊治撮影の写真 北大博物館で展示

国立科学博物館が所蔵する「正田豊治」のガラス乾板6900枚を、北海道総合博物館で展示している。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。



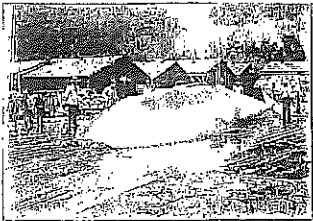
カメラに乗る正田豊治=1931年

正田豊治は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。

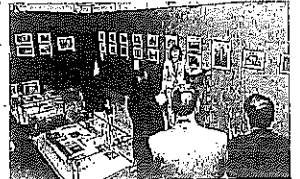
トウキョウシンボム 入館時間 開館中 10時～17時  
正田豊治のガラス乾板 6900枚 保存良好  
国立科学博物館が所蔵する「正田豊治」のガラス乾板6900枚を、北海道総合博物館で展示している。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。



人間の背丈を超える刺鱈 オヒシウの威容=1922年



上の写真4点は北大総合博物館提供



写真展の会場。正田のガラス乾板も展示している=10月24日  
国立科学博物館が所蔵する「正田豊治」のガラス乾板6900枚を、北海道総合博物館で展示している。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。

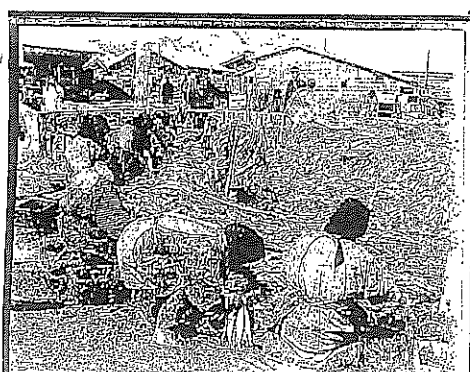
ガラス乾板写真の世界



戦前の魚類学者、正田豊治氏が、フィルム代わりにガラスを使ったオヒシウの大きさを撮影する。1900年代の日本の写真史を写し留めた。

戦前の魚類学者、正田豊治氏が、フィルム代わりにガラスを使ったオヒシウの大きさを撮影する。1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。

魚類学者 正田豊治氏が写した108枚



23日まで 北大総合博物館  
中心は、11月23日まで。時間 11:00～17:00  
は午前10時から午後4時。土、日曜に休館。学生は割引料金。問い合わせは博物館 011-830-0000  
1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。正田は、1900年代の日本の写真史を写し留めた。

平成 22 年 11 月 24 日  
山 形 大 学

## キャンパス・イルミネーション点灯

今年も、クリスマスや年末年始、入学試験の季節を明るく彩る、  
キャンパス・イルミネーションが点灯します。

キャンパス・イルミネーションは、小白川キャンパスでは平成19年から、工学部キャンパスでは平成16年から、毎年実施され、それぞれ4回目と7回目を迎える、学生や近隣の市民の皆さまに深く親しまれている冬のイベントです。

多くのイルミネーションが、入学試験の季節のキャンパスを明るく華やかに彩ります。そして、受験生たちを暖かく励まします。

## 《小白川キャンパス》

点灯期間：平成22年12月1日（水）～平成23年2月28日（月）

点灯時間：16時30分～21時00分

電球数：約1万個

場 所：大学正門ロータリー中央の松の木

## 《工学部キャンパス》

点灯期間：平成22年12月1日（水）～平成23年2月28日（月）

点灯時間：16時00分～24時00分

電球数：約5万1千個

場 所：正門から図書館へと向かう並木、事務棟の正面及び南側、  
百周年記念会館前広場 等

このキャンパス・イルミネーションは、毎年12月からクリスマス、年末年始、大学入試センター試験及び個別学力検査等の入学試験が終了する2月末までの間、キャンパス環境向上を図り、魅力ある大学創りを目指すために実施しているもので、「地域に根ざした大学」として、市民の方々にも広くキャンパスを開放いたします。

(お問合せ先) 山形大学小白川事務部

TEL:023-628-4112

山形大学工学部広報室

TEL:0238-26-3419

# プレス通知資料（概要）

平成22年11月24日  
山形大学

## 1. 東北地区国立大学法人等『職員採用合同セミナー』

（概要）平成23年度東北地区国立大学法人等職員採用試験に先立ち、東北地区の国立大学法人等が一堂に会し、セミナーを開催いたします。

職員採用試験の概要及び国立大学法人等職員の業務内容についての全体説明の他、若手職員によるパネルディスカッションや、機関毎にブースを出しての個別説明会を行います。

国立大学法人等の組織や業務について理解を深めていただく機会となりますので、奮ってご参加ください。

日時:平成22年11月26日(金) 10:00～16:00

場所:東北大学百周年記念会館川内萩ホール(仙台市青葉区川内40)

対象:どなたでも参加できます。(予約不要)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:東北地区国立大学法人等職員採用試験事務室

(TEL) 022-217-5676

## 2. Y-MOTネットワーク『イブニングサロン in YONEZAWA』

（概要）Y-MOTネットワークは、大学理工学研究科ものづくり技術経営学専攻のOB組織です。地域の中小企業に対して、専門知識を集結し、企業・産業に課題解決型のサービスを提供する事業を行い、広域的な経済・産業の活性化、雇用の創出を支援し、社会の発展に寄与することを目的として、平成22年5月27日に設立された特定非営利活動法人(NPO)です。

シーズやニーズの出会いの場として、新しい異業種交流を体験してください。

日時:平成22年11月27日(土) 18:00～19:30

場所:山形大学国際事業化研究センターセミナーホール(米沢市・工学部キャンパス)

参加料:1,000円(資料代・飲み物代)

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:Y-MOTネットワーク(渡邊 毅)

山形大学国際事業化研究センター街中キャンパス内

(TEL) 0238-40-0761

### 3. JST『イノベーションフォーラム東北2010』

(概要) 科学技術振興機構(JST)では、事業化のための「育成研究」2課題の成果報告会と平成21年度「シーズ発掘試験」採択課題の技術シーズ発表会を開催します。

そのフォーラムにおいて、本学大学院理工学研究科 時任静士 卓越研究教授が基調講演を行います。

地域科学技術振興・産学官事業についてご理解を深めていただくとともに、産業界で有用となる新たな技術シーズを見出す産学官マッチングの場としてご活用願います。

日 時:平成22年12月1日(水) 13:00~17:30

場 所:仙台国際センター 3階 白櫃<sup>しらかし</sup>1(仙台市青葉区青葉山無番地)

参加料:無 料

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:JSTイノベーションプラザ宮城

(TEL) 022-719-5755

### 4. FDシンポジウム『学生主体型授業の冒険』

(概要) 「学生主体型授業開発共有化 FD プロジェクト」は、学生の社会人基礎力を育成するため、汎用性の高い学生主体型授業のモデルを開発し、質の高い学生主体型授業を設計し実践することを目指しています。

最終年度にあたる本年度は、初年次の学生を対象とした学生主体型授業を広く全学的に展開し、改善を加えながら質の高い学生主体型授業を実施しています。

そこで、本プロジェクトの成果を他大学における教育改革で活かしていただけるようシンポジウムを開催いたします。

日 時:平成22年12月19日(日) 13:00~16:50

場 所:山形大学東京サテライト 1階国際会議室

(キャンパス・イノベーション・センター東京・東京都港区芝浦 3-3-6)

定 員:先着100名(申込期限/12月10日(金))

[ 詳しくは、別添の資料をご覧ください ]

問い合わせ:山形大学高等教育研究企画センター

(TEL) 023-628-4707

5. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント  
当日の取材をよろしく願いいたします。

### ○大学コンソーシアムやまがた「やまがた夜話」

日 時:開催日は下記のとおり(毎週水曜日) 18:30~19:30

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対 象:高校生・学生・一般市民 定員50名(参加費は無料です。)

- 第4回 11月24日(水) 竹原 敦 氏 県立保健医療大学作業療法学科講師  
「健康な山形の未来を支援するために  
～サクセスフルエイジングへの挑戦～」
- 第5回 12月1日(水) 山下 英一 氏 東北芸術工科大学デザイン工学部教授  
(未定)
- 第6回 12月8日(水) 佐藤 淳 氏 鶴岡工業高等専門学校電気電子工学科准教授  
「林地残材自動回収システムの開発とその背景」
- 第7回 12月15日(水) 阿部 眞栄 氏 山形駅前大通り商店街振興組合理事長  
(未定)
- 第8回 12月22日(水) 温井 亨 氏 東北公益文科大学大学院 准教授  
「共創・協働のまちづくりー上山市中心街の事例からー」  
〔 詳しくは、別添の資料をご覧ください 〕

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局(樋口、小玉)

(TEL)023-628-4842

### ○地域教育文化学部「うんまい弁当」販売

日 時:平成22年11月26日、12月3日、10日、17日の毎週金曜日

①11時30分から ②12時15分から

販売場所:大学会館前

販売食数:各日150食(①75食、②75食)

販売価格:310円(デポジット容器代10円を含む)

問い合わせ:山形大学地域教育文化学部

生活総合学科食環境デザインコース 三原、楠本、矢口

(TEL)023-628-4420、4464、4333

○国立大学フェスタ2010  小白川図書館「ドキュメンタリー映画上映会

(研究室リレー上映 シリーズ3)」

日時・上映作品:平成22年11月26日(金) 17:00～ 『生まれなかった映画たち』

場 所:山形大学小白川図書館1階 シアタールーム

問い合わせ:山形大学小白川図書館

(TEL) 023-628-4902

○国際事業化研究センター『最上夜学 with 産学官連携やまがたネットワーク (Party21)』

日 時:平成22年11月29日(月) 18:00～20:00

場 所:しんきん文化ホール「レキシントン」(新庄市本町2-9 電話0233-22-4222)

対 象:企業、関係団体、行政など

(「食産業」、「産学連携」等に関心のある方ならどなたでも結構です。)

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室

(TEL) 023-628-3004

○国立大学フェスタ2010  山形大学有機ELセミナー

地域に根ざし世界をめざす 有機エレクトロニクスの未来」ー 山形大学の挑戦 ー

日 時:平成22年11月30日(火) 13:30～17:00

場 所:東京ステーションコンファレンス(JR東京駅八重洲北口改札口より徒歩2分)

対 象:どなたでも 400名(入場無料)

問い合わせ:山形大学総務部広報ユニット

(TEL)023-628-4008

○地域教育文化学部『発明工房・ふしぎ体験教室②「メリーゴーランドをつくろう!」』

日 時:平成22年12月11日(土) 13:00～15:00

場 所:山形県産業科学館4階 発明工房(山形市城南町霞城セントラル)

定 員:先着30名

条 件:小・中学生(ただし、小学2年生以下は保護者同伴のこと)

問い合わせ:山形県産業科学館

(TEL) 023-647-0771



○工学部百周年記念講演『人生を決めた15分ー創造の1／10, 000ー』

日 時:平成22年12月14日(火) 14:20～15:50

場 所:山形大学工学部 大示範教室(米沢市・工学部キャンパス)

講 師:奥山 清行 氏

(山形大学客員教授・工業デザイナー／KEN OKUYAMA DESIGN 代表)

入 場:無料・申込不要、どなたでもお気軽にご参加ください。

問い合わせ:山形大学工学部システム創成工学科事務室

(TEL) 0238-26-3248

○大学院理工学研究科『ウインター・サイエンス キャンプ』 ((独)科学技術振興機構)

「有機の光で照らしてみよう～有機ELを作る～」

日 時:平成22年12月23日(木・祝)～12月25日(土)

場 所:山形大学大学院理工学研究科

有機デバイス工学専攻 有機エレクトロニクス研究室

問い合わせ:山形大学工学部研究支援室

(TEL) 023-628-3004

# 東北地区国立大学法人等 職員採用合同セミナー

## プログラム

### 1 職員採用試験の概要及び業務内容についての全体説明

試験制度についての説明や若手職員によるパネルディスカッション等を行います。

### 2 各国立大学法人等による個別説明会

東北地区の各国立大学法人等がブースを出し、個別に質問にお答えします。

※参加予定機関については、ホームページでご確認ください。



青森県

弘前大学



岩手県

岩手大学



秋田県

秋田大学



宮城県

東北大学



宮城県

宮城教育大学



山形県

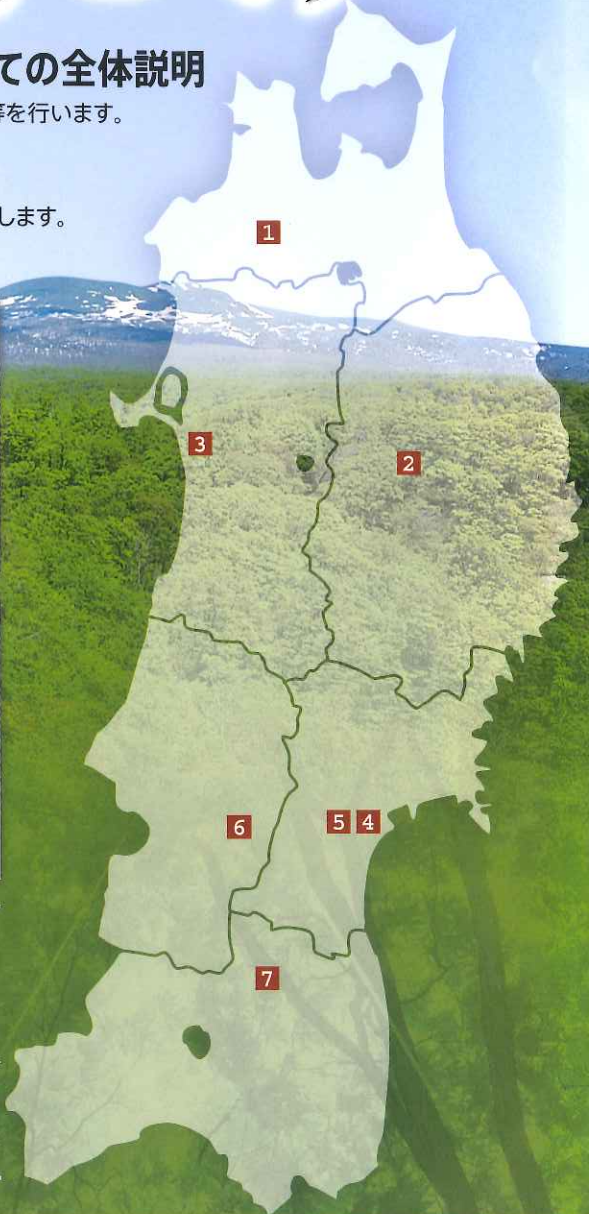
山形大学



福島県

福島大学

- 八戸工業高等専門学校
- 一関工業高等専門学校
- 仙台高等専門学校
- 秋田工業高等専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 福島工業高等専門学校
- 国立岩手山青少年交流の家
- 国立磐梯青少年交流の家
- 国立花山青少年自然の家
- 国立那須甲子青少年自然の家



日時 **11月26日(金)**

10:00(開場9:40)~16:00

場所 **東北大学百周年記念会館  
川内萩ホール** 宮城県仙台市青葉区川内40

- どなたでも参加できます。(予約不要)
- 会場へは公共交通機関をご利用ください。
- セミナーに関する問い合わせは、東北地区国立大学法人等職員採用試験事務局 (022-217-5676) までお寄せください。



# イブニングサロン in YONEZAWA

シーズやニーズの出会いの場  
新しいタイプの異業種交流を体験しましょう  
ビール片手に情報交換しませんか

## 第6回

日時：平成22年11月27日(土) 18:00から19:30

会場：山形大学VBLセミナーホール

(山形大学米沢キャンパス内)

内容：

### 1 話題の提供

- (1)株ウェーバックオーディオラボ 代表取締役 伊藤 譲氏(25分)  
「ものづくりと私の生き方」
- (2)山形県企業振興公社(MOT-6) 奥山 泰宏 氏(20分)  
「最新・無錫事情」
- (3)飛び入りPR(受付中・当日申込歓迎します)

### 2 情報交換・名刺交換

参加費：1000円(資料代・飲み物代)

**注意：飲み物は缶ビールを準備します(ソフトドリンクもあります。)**お車での参加はご注意ください。

申し込み：E-mail：[saitomasak@pref.yamagata.jp](mailto:saitomasak@pref.yamagata.jp)(齋藤)  
11月25日(木)まで申込みお願いします

主催：Y-MOTネットワーク

尚、この事業は(財)東北活性化研究センターからの助成を受けております。

[出 欠] 恐れ入りますが出席される場合のみ、11月25日(木)までメールまたはFAXにて下記宛てに御連絡願います。

FAX 0238-40-0765  
mail:saitomasak@pref.yamagata.jp

(連絡先)

〒992-0039 米沢市門東町3-1-47 街中キャンパス内  
Y-MOTネットワーク(渡邊 毅)  
TEL:0238-40-0761 FAX:0238-40-0765  
[mail:watanabe@srk.jp](mailto:watanabe@srk.jp)

### 出席連絡表

企業・団体名:

- 役 職:

- 氏 名:

# JSTイノベーションフォーラム東北2010

このたび科学技術振興機構(JST)では、事業化のための「育成研究」2課題の成果報告会と、平成21年度「シーズ発掘試験」採択課題の技術シーズ発表会を以下のとおり開催いたします。この機会を通じて、地域の皆様にJSTが取り組んでおります地域科学技術振興・産学官事業についてご理解を深めていただくとともに、産業界で有用となる新たな技術シーズを見出す産学官マッチングの場としてご活用いただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2010年12月1日(水)

13:00 ~ 17:30(開場:12:30)

会場

仙台国際センター

3F 白樫1(宮城県仙台市青葉区青葉山無番地)

参加費

無料

## プログラム

13:00 開会挨拶

(独)科学技術振興機構 JSTイノベーションプラザ宮城 館長 伊藤 弘昌

### 特別講演

13:10 JST地域卓越研究者戦略的結集プログラム  
先端有機エレクトロニクス国際研究拠点形成プロジェクト

「フレキシブル有機エレクトロニクスの実現を目指して」

招聘卓越研究者 山形大学 大学院理工学研究科 教授 時任 静士 氏



### 成果発表

13:50 【育成研究】「高機能チタン合金製医療器具の開発」

代表研究者 東北大学 金属材料研究所 名誉教授 花田 修治 氏

[共同研究企業] トミー株式会社、瑞穂医科工業株式会社、TDF株式会社

14:05 技術シーズ発表(12課題) ~ 平成21年度 シーズ発掘試験採択課題 ~  
医療(2件)、電気・電子(3件)、情報通信(1件)、化学(3件)、金属材料(3件)  
の分野に関して、東北6県の各機関より研究成果をわかりやすく発表します。  
(詳細は裏面参照)

16:20 ポスターセッション

1) 口頭発表13課題について発表研究者との質疑応答

2) 【同時掲載】育成研究「積層縦型構造不揮発性半導体メモリの製造技術の開発」

代表研究者 東北大学 学際科学国際高等研究センター 教授 遠藤 哲郎 氏

[共同研究企業] 東京エレクトロン株式会社

16:55 研究開発支援制度紹介

東北経済産業局 地域経済部 産業技術課

科学技術振興機構 産学連携展開部

17:30 閉会

主催



独立行政法人  
科学技術振興機構  
Japan Science and Technology Agency

JSTイノベーションプラザ宮城、JSTイノベーションサテライト岩手

後援

(予定)

東北経済産業局、宮城県、仙台市、山形県、福島県、青森県、秋田県、岩手県、東北大学、宮城教育大学、山形大学、秋田大学、岩手大学、会津大学、東北薬科大学、岩手医科大学、八戸工業高等専門学校、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北支部、東経連事業化センター

**会場：仙台国際センター 3F 白樫1**

(〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地)

**【技術シーズ発表課題一覧】**

分野	No.	課題名、研究者名
医療	1	高機能SMAと磁気式位置検出技術の融合による 新しい低侵襲医療機器開発の試み 東北大学 大学院医工学研究科、歯学研究科(兼) 准教授 金高 弘恭
	2	CVD法による酸化チタン修飾シリカ繊維の調製と 高性能光触媒への応用 八戸工業高等専門学校 物質工学科 准教授 長谷川 章
金属材料	3	塩化揮発法によるレアメタルの分離 秋田大学 工学資源学部 教授 菅原 勝康
	4	X線点集光モノクロメータの作製を目指した SiおよびGe結晶板の高温加圧加工法の研究開発 京都大学 大学院エネルギー科学研究科 客員教授 中嶋 一雄
電気・電子	5	MOVPE法によるZnO基板上の「緑色発光用InGaN」成長 東北大学 金属材料研究所 教授 松岡 隆志
	6	新しいエネルギー弁別X線イメージング 岩手医科大学 共通教育センター 教授 佐藤 英一
	7	塗布法による簡便安価な酸化物高温超伝導トンネル接合の開発 宮城教育大学 教育学部 准教授 内山 哲治
情報通信	8	ユーザの意図が「気つける」テキスト解析システム 会津大学 コンピュータ理工学部 教授 趙 強福
化学	9	UV硬化性分岐ポリスルフィドの合成とレジスト材料への応用 山形県工業技術センター 研究員 平田 充弘
	10	フラクタル構造を有する不規則性多孔質金属酸化物の合成とその応用 山形大学 大学院理工学研究科 助教 松田 圭悟
	11	遠心力を利用した向流クロマトグラフの開発と応用 岩手大学 人文社会科学部 教授 北爪 英一
薬学	12	ヒトiPS細胞の肝分化誘導研究とその薬物代謝研究への応用 東北薬科大学 教授 永田 清

**【会場ご案内図】**



**【バスご利用の場合】**

●乗車

仙台駅西口バスプール「9番のりば」より  
 710「宮教大・青葉台」  
 713「宮教大・成田山」  
 715「宮教大」  
 719「動物公園循環  
 (青葉通・工学部経由)」  
 720「交通公園・川内営業所」  
 のいずれかにお乗りください。

●下車

「博物館国際センター前」でお降りください。

●所要時間 約10分

**JSTイノベーションフォーラム東北 2010 FAX 参加申込書**

(開催日:2010年12月1日(水) 会場:仙台国際センター 3F 白樫1)

FAX番号 : 022-719-5756

E-mailにてお申込みの場合は●お名前 ●所属 ●役職 ●お電話番号を  
 ご記入の上、jst\_miyagi@miyagi.jst-plaza.jp へ送信してください。(お問い合わせ:022-719-5755)

※ 個人情報は、本フォーラムのためにのみ使用するものとします。

所属機関名			
連絡先(Tel・Fax)		Tel:	Fax:
氏名		役職	

山形大学  
FD  
シンポジウム

# 学生主体型授業の冒険



リサイクル適性 **A**  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

日時 **2010年12月19日(日) 13:00~16:50**  
会場 **キャンパス・イノベーションセンター東京  
1F 国際会議室 (東京都港区芝浦3-3-6)**

主催 **山形大学高等教育研究企画センター**

- 内容
- 基調講演「学生主体型授業開発共有化FDプロジェクト」  
山形大学高等教育研究企画センター 小田 隆治
  - 取組発表
  - パネルディスカッション

# 山形大学FDシンポジウム 学生主体型授業の冒険

日時 2010年 **12月19日**(日) 13:00~16:50  
(受付開始 12:00~)

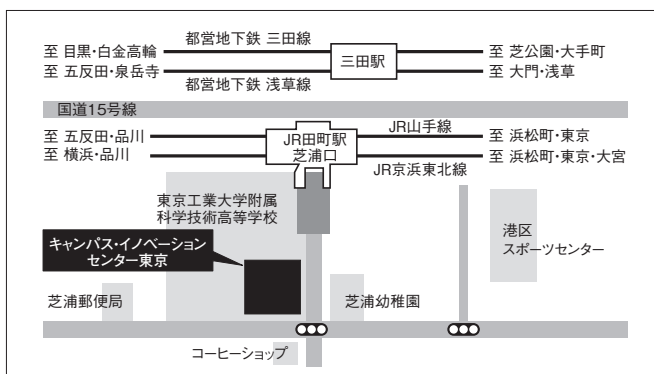
会場 キャンパス・イノベーションセンター東京  
1F 国際会議室 (東京都港区芝浦3-3-6)

平成20年度に文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)」として採択されました「学生主体型授業開発共有化FDプロジェクト」は、学生の社会人基礎力を育成するため、汎用性の高い学生主体型授業のモデルを開発し、それを教員が共有し、個々の授業担当者が自身の専門性に合わせて改良することによって質の高い学生主体型授業を設計し実践することを目指しています。

最終年度にあたる本年度は、初年次の学生を対象とした学生主体型授業を広く全学的に展開し、改善を加えながら質の高い学生主体型授業を実施しています。

そこで、本プロジェクトの成果を他大学における教育改革で活かしていただけるようシンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加いただきますようご案内いたします。

## ACCESS MAP



## プログラム

**基調講演** 13:10~14:10

「学生主体型授業開発共有化FDプロジェクト」  
山形大学 小田 隆治 教授

**取組発表** 14:20~15:40

「学生をつまずき・教員をつまずき  
—学生主体型授業の不確実性—」  
山形大学 杉原 真晃 准教授

「意欲を引き出す授業デザイン  
—学生を主役にする『蛙学への招待』—」  
北海道大学 鈴木 誠 教授

「学生同士で気付き合う  
—キャリアデザインの仕掛け—」  
静岡大学 佐藤 龍子 教授

「学生の潜在的主体性の引き出し方  
—自然体の学びの実現—」  
岡山大学 橋本 勝 教授

**パネルディスカッション** 15:50~16:50

「学生の主体性を引き出す授業」

**情報交換会** 17:00~

〈参加申込方法〉

先着100名

申込期限 / 12月10日(金)

氏名、所属機関(部局)、住所、電話番号、E-mail アドレス、情報交換会(会費 4,000 円)への参加の有無を明記し、下記のいずれかの方法でお申し込み下さい。

FAX 023-628-4720

E-mail k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

主催 山形大学高等教育研究企画センター

お問い合わせ 山形大学高等教育研究企画センター TEL.023-628-4707 FAX.023-628-4720  
E-mail : k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kyouiku/index.html

参加申込書	氏名	所属等
	住所	TEL
	E-mail	
	情報交換会の参加希望	有(会費4,000円) 無